<旋設訪問>

熊本県小倉物産館

市場やお得意さんまわりも

館長の岡山さんのほか、職員は四名だけ。ではこゝで日頃の活動状況の一端を紹介してみよう。

職員はそれぞれ専門の分野を担当している。Aさんの場合だと農産物、青果が専門だから毎朝、市内の青果市場をまわる。こゝでは県産品の荷造り状況や市場市況を調査したりする。又、熊本県以外の品物がどう出まわつているかも絶えず気を配ばらなければならない。Bさんの場合は木材や木製品が専門だから、木材市場をまわるほか、木造船の入札に立合つたり、仕組板(魚類箱・みかん箱など)や家具関係のお得意さんをまわつたりして、製品についての意向や注文を受けている。とにかく出歩いて、細かい動きにも敏感でなければならないし、生産地で二・三年経験したものでなければおそらく勤りそうにもない仕事である。

物産館ではいろんな資料を絶えず熊本県へ流している。例えば、毎月産業館や農協等へ送られている木材市況、毎月の価格、各県の入荷実績を集計した資料や又、その日の中に青果市況を報道機関へ流している。

盛んな青果物の取引

ところで小倉物産館の窓口からみた、県産品の取引状況だが、取引全体の九五%を占めているのが青果物。それも青果物は新鮮度が物をいうだけに自然北九州方面が多いわけ。次が木材・木製品・食料品雑貨の順である。最近、比較的に伸びてきているものに木製品・木造船・竹すだれ等がある。

昭和三十一年度から三十三年度までの取引高の経過をみると別表のとおりである。

現在、県産品の中で製品がいいと好評を博したのに麺類と白玉粉がある。白玉粉など、製鉄所の厚生部で多量に購入されており、又市内のデパートで生産業者が出向いて白玉粉や、そばの実演即売会を開いたりして宣伝に力こぶを入れている。

取引には永続性を…

次に、県産品の出荷にあたつて生産業者が心がけなければならない点について館長の岡山さんは次のようなことを指摘している。

まず、生産業者は取引に対する考え方をもつとしつかり持つて貰いたいこと。今まで北九州の業者と取引していたが、阪神方面の値がよくなると急にそちらへ鞍がえしてしまうという例が少くない。これは取引業者の信用を落すことになる。どんな細かい取引でも一時的でなく永続性がなければ進展しないものである。それから木製品や包丁、うちわ、たらい、箒木、竹すだれ等、取引先ではいろいろ時代感覚にマッチしたものをという要望が強い。

さらに、最近の市場では、好景気を反映してか、品質がよければ少しぐらい値が高くても売れるという傾向が強くなつてきている。それとは全く逆な面で、例えば熊本の白玉粉は他県のそれに比べてあまり品質が良すぎてしかも値が他県比べて高いため、売行きが思わしくなく、少しした方がいを下げてでも値を平均ぐらい品質いという場合もある。これらは一様には判断できないが、いたずらに安く売り込むために、品質低下を招くようなことがあれば信用をなくす原因にもなるので、生産業者は特に心がけて欲しい。

伸びてきた観光あつ旋

昨年の八月、現在の新しい事務所に移転してから観光関係のあつ旋が伸びてきている。それも会社や工場の団体申込みが多い。これらは物産館から直接市役所や町村役場へ連絡して宿泊などの便宜をはかつている。

事務所は連日訪問客で賑わつているが一番多いのが得意先の業者、それに県内の生産業者、報道関係者、各県の駐在員。又学童が団体見学で押かけてくる日もあり、旧事務所の二倍近くのお客さんで結構面接だけでも多忙というところ。

(広報課)

お客さんと面談する館長の岡山さん(右)

取引高の経過 (31年度→33年度)

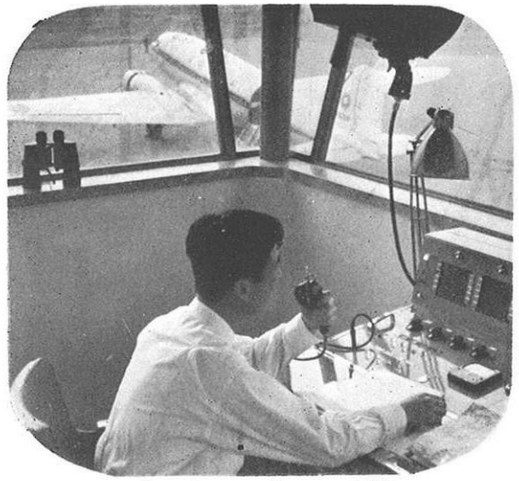
年度＼種別	青果物(花卉を含む)	木材・木製品(木造船・木炭・茶ぼん等)	食料品・雑貨(鶏卵を含む)
	円	円	円
31年度	60,241,879 (60.7%)	36,030,174 (36.6%)	3.013.617 (3.0%)
32 〃	168,372,638 (55.2%)	133,468,334 (43.8%)	2,929,017 (I.0%)
33 〃	193,739,183 (66.2%)	90.122,802 (30.8%)	7,700,841 (3.0%)

★★はなやかに熊本空港びらき★★

4年前から話題になつていた熊本空港が熊本市健軍町にさる4月1日開港しました。

当日は、初の第1便で県出身の代議士や知名人を迎え祝賀会は盛況をきわめました。

(写真・右は空港の玄関)



(コントロールタワーの内部)

(全日空ダグラスDC-3を囲む観衆)

写真はデパートの売場で開かれているそばの実演即売会

広報紙を送って下さい

市町村の広報担当者の皆さんにお願い

いつも広報紙をお送り下さつて有難うございます。

だが、まだお送り下さらない市町村もありますので、どうか今後は発行たびごと一部広報課あてお送り下さいませんでしようか。

今後市町村の広報活動と県の広報活動とのむすびつきを一層緊密にしてゆくためにも、ぜひお願いします

また、広報紙のほかに、有線放送のプログラムなども毎月お願いします。

なほ、市町村に限らず、婦人会や青年団、4Hクラブなどで発行されている機関紙も、ぜひ頂きたいと思います。

皆さんから御寄贈頂いた広報紙や機関紙を有効な資料として、今後県下の広報活動を一層活潑にやつていきたいと思います。

(広報課)

熊本県小倉物産館
小倉市浅野町二
小倉ステーションビル内
(TEL三八〇七)